

第6回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議【議事録】

◎日 時： 2019年3月13日（水）13：30～17：00

◎場 所： 一般社団法人日本ライオンズ（東京・八重洲）

◎出席者：

330 複合地区協議会議長 今井文彦（副世話人）

331 複合地区協議会議長 石岡憲義

332 複合地区協議会議長 竹下直義

333 複合地区協議会議長 藤川清幸

334 複合地区協議会議長 藤弥一司

335 複合地区協議会議長 柿原勝彦（副世話人）

336 複合地区協議会議長 太田健一

337 複合地区協議会議長 識名安信（世話人）

国際理事 佐藤義雄

国際理事 安澤莊一

元国際理事（オリパラ関連ゲスト） 山浦晟暉

一般社団法人日本ライオンズ理事長 田中明

一般社団法人日本ライオンズ事務所所長 菅原雅雄

- ◎予定案件：
1. 一般社団法人日本ライオンズとの整合性について
 2. 広島フォーラム・ステアリング委員会報告
 3. 第3回日本ライオンズ理事会報告
 4. スペシャルオリンピックス（SON）関連
 5. その他

始めに、山浦元国際理事よりご挨拶。

・オリンピック、パラリンピックへの支援では全国の皆様に多大のご協力を頂いて感謝いたしております。

・全国の空手道連盟の空手をやっている全国81万人（柔道の倍の人）の愛好者の人達の中で空手を通しての支部を作れないかと思って、議長会の皆様にご理解を頂き全国に広められればと思っております。

・国際協会は会員増強と LCIF キャンペーン 100 に総力を掛けてくれとの事ですので、支部の立ち上げとして全国に広がる空手道連盟の協力をもって各地におられる空手愛好者で「支部」を立ち上げて頂きたいとお願いさせていただきます。

・空手道連盟の協力を得て全国に有る地域の空手道連盟に「支部作り」を進められればと思っています

識名世話人より：山浦 PID がお話になった様に 1 つの事に特化したスペシャルティクラブを立ち上げる事はとても良い事だと思います。空手は全世界で 1 億人の愛好者が居ます。どうぞ皆様各地区で空手を中心としたし支部作りを進めて頂きます様お願い致します。

柿原議長より：空手道連盟,山浦さん,世話人で話を纏めて頂き,正式な文章で各 MD 準地区に通達してもらった方が理解を求めやすいと思います。会員皆が納得できる方法を考えたい。

佐藤国際理事よりご挨拶

・私は 2/16 日から韓国で開かれました LCIF の会議に出席して来ました。次の日は韓国の 60 周年という事で大きなドームでグッドラン国際会長,チョイ第一国際会長はじめ数千人の会員が集まって盛大に行われました。

・福岡に入り広島へ OSEAL の会議に出席して来ました。広島 OSEAL の参加目標は 1 万 5 千人 + α で総予算は 4 億 2 千万円です。

・4/1~第 3 回国際理事会に安澤国際理事と共にアイスランドに行ってきます。後半はジュネーブで国連の会議有りますのでそちらの方にも出席をしてみたいです。第 3 回国際理事会ではミラノの国際大会の議案が出てきます。

安澤国際理事のご挨拶

・来期にはオリンピック・パラリンピックが開催されますが健常者には夢と希望をもって、障害者の皆さんには自信と誇りを持つと言う,キャッチフレーズがありますが我々は We Serve の精神の元、力を合わせて活動を続けられます様、皆様のご協力をいただき進めてまいりたいと思います。

① 一般社団法人日本ライオンズとの整合性について

・3/8 日に Web 会議がありましたが一番大きく取り上げられたのが議長会と一般社団法人日本ライオンズの整合性に付いてです。

田中理事長より

・日本における一般社団法人日本ライオンズの立ち位置の変更に伴うライオンズ及び役員必携の変更に付いてですが、この辺で少し誤解があるみたいで社団としては立ち位置の変更は全くありません。設立当時から定款に基づいてやっております。

- ・会則委員会に出席をさせて頂き,その中で3つの所を修正願いたいと言う話がありました。1つは組織図に付いて,2つ目が参与の関係,3つ目が議案の流れ,採決の仕方を明確にしてほしいと言う事でした。

識名世話人より

- ・組織図の中でIP推薦のGLT,GMT,GST,FWT,LCIF等の方々が参与に成ると言う事ですが,それを逆に言えば聖域を作らずにGAT、LCIFも各委員会を作って委員会の中で一緒に活動して頂く,今ある8つの委員会に加えてGAT委員会,LCIF委員会として作って,今いる参与の方々はこの委員会に入って貰うという風にすれば参与から外れることに成る。

田中理事長

- ・GAT委員会,LCIF委員会は,はじめ有ったのですが10/15日の段階で外れていました。

総意としての意見

- ・会則委員会をはじめ、疑問を感じている方の意見に共通する部分が「参与」であり、その選定過程に対するものであった。

会則委員会とのやり取りをまとめると

- ・日本ライオンズを基本に「日本は一つ」のためにより良い組織を作ることに賛同。
- ・議長会の総意として、皆さんの意見をまとめた組織図を作り執行理事会に提案することを申し合わせた。

- ・8月提出の組織図に戻して、これらの委員会は別に枠を設けてLCIFなど国際本部の直属と言う形で、相談役、参与も別枠で設置するという新たな進化した組織図を作る。

- ・社団法人としての日本ライオンズが「日本は一つ」という意思表示になると思うが、現状はプロトコールにもなく国際協会からの距離を感じている。

- ・これを機に日本は一つの組織力を発揮する環境を今期中に整えられるよう、これからも皆さんで意見交換をすることを申し合わせた。

② 広島ステアリング委員会の報告

・資料 B に有ります。その中で 16,100 の登録で決まりました。その中で日本は 11,000 人その内訳 336 広島で 5,000 名他 7 複合で 6,000 名 MD330 は 1,000 名 MD331 は 200 名 MD332 は 300 名 MD333 は 500 名 MD334 は 1,000 名 MD335 は 1,500 名 MD337 は 1,500 名という振り分けで御願いたしたいと思います

③ 他協議事項

パティ・ヒル昼食会経費負担について

・Dr.パティ・ヒル昼食会を殆ど 330 が主催したことに皆が謝意を伝えた。通訳などの不足分を欠席の 331 複合を除く 7 複合で均等負担（各 1 万円ていど）することで申し合わせた。

④ 第 3 回日本ライオンズ理事会報告 資料D

・次回 2021 年スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲームが北海道で開催されることになり、北海道の方へ引継ぎをされました。現在残ったお金が約 290 万の残金があり、D の予算書が出ていますが、D の予算書は前回の愛知大会をモデルにして作成されています。愛知の時と同様 1 クラブ ¥5,000 ずつ集めさせて頂き各複合の方に通達したいと思っております。協力頂いたクラブにはメダルが 1 つ送られます。

⑤ その他

・社団法人と 8 複合との整合性への疑問、事務所移転など様々な課題があるが、継続審議にすると、また 1 からの議論になる。理事長はじめ、議長会としても、今期中に方向性を定め、決められることは速やかに決めていきたい旨を共有した。

議事録作成人 MD335 議長 柿原勝彦

スペシャルオリンピックス日本
第7回 冬季ナショナルゲーム 北海道大会 予算案

収入	
330複合地区～337複合地区（ 年 月 日現在）	
合計	円
利息	円
	円

支出		
支払先	内訳	金額
発注先未定	Tシャツ 5,000 枚	4,000,000
	のぼり 1,000 本	320,000
	ボール 1,000 本	285,000
	スタンド 200 台	141,000
	ピン 3,500 個	350,000
	消費税	407,680
		5,503,680 円
振込手数料		864 円
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	ローソクトーチホルダー	194,400 円
振込手数料		864 円
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	次回選手強化合宿賛助金	2,500,000
SON10地区*100,000円	和歌山・福岡・兵庫・広島・山形	1,000,000 円
ユニファイドリレー・トーチラン賛助金	北海道・宮城・鹿児島・熊本・佐賀	
振込手数料		8,640 円
ユニファイドリレー・トーチラン補助金		
	1 R	300,000 円
	2 R	300,000 円
	3 R	300,000 円
	4 R	300,000 円
	5 R	300,000 円
	6 R	300,000 円
	振込手数料	5,184 円
理事長対談 PR用ビデオ		300,000 円
事務局費(印刷代・雑費)		300,000 円
		11,613,632 円

@ 800
@ 320
@ 285
@ 705
@ 100